

第五次御殿場市総合計画前期基本計画（御殿場市まち・ひと・しごと創生総合戦略）・御殿場市人口ビジョン【概要版】

人口ビジョン・前期基本計画人口推計

人口の現状分析

- 人口は平成24年をピークに減少傾向にある。
- 90,249人（平成24年8月）から83,142人（令和7年6月）と減少が続いている。
- 自然動態は、平成29年以降、**自然減**が続いている。
- 社会動態は、平成21年以降、**社会減**の状態である。

＜年齢3階層別人口の推移＞

- 年少人口（0歳～14歳）は緩やかに減り続けており、平成12年～平成17年に老年人口（65歳以上）と逆転し、以後もこの傾向が続いている。令和2年時点で年少人口は老年人口の**約1/2**となったが、さらに高齢化が進んでいる。
- 老年人口は、今後も引き続き増加し、**令和27年頃まで増え続ける**ものと見られる。

＜社人研の推計（これまでの傾向が続くと…）＞

- 令和27年には**24歳以下と45～54歳が減少**し、**70～74歳が最も大きな割合を占める**ことが予想される。
- 令和52年には**57,257人まで減少と推計（約35%減（平成22年比））**。

目指すべき将来の方向

本市は、自然減かつ社会減の状態が続いており、少子高齢化も進むことから、人口減少のスピード抑制を図る取組を推進していく。

- 移住・定住促進 ●魅力ある雇用・就労の場の創出 ●子育てしやすい環境の充実
- 地域の人材育成と教育の充実 ●健康寿命の延伸 ●多文化との共生

＜将来のまちの姿＞

“住み続けたい”をかなえる ～富士山とともにある ごてんば暮らし～

人口の将来展望

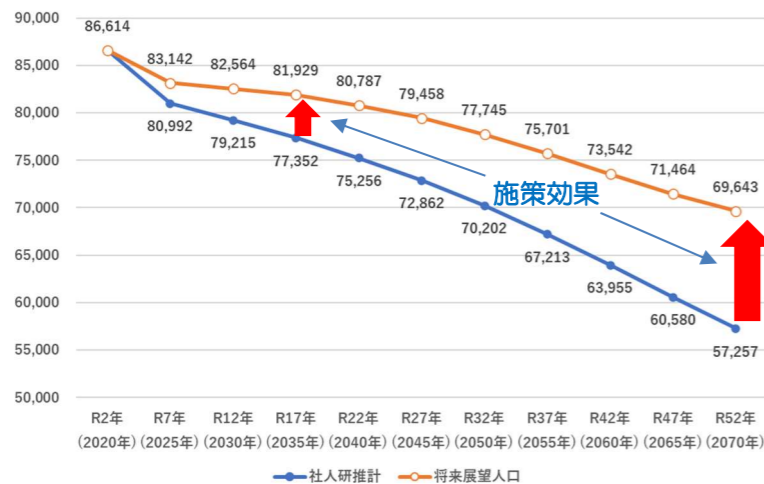
○合計特殊出生率の上昇

- 1.54（令和7年）から25年間（令和32年）で2.07まで上昇・維持

○転出の抑制・転入の増加

- 社会移動率を令和7→17年（社人研推計値）の水準よりも2.5%上昇

- 第五次総合計画期間（令和8年度～17年度）に**81,000人**（※前期基本計画期間（令和12年度）は82,000人）、令和52年に**69,000人**の人口維持を目指す。



《将来都市像

緑きらきら

人いきいき

未来つなぐ

交流都市 御殿場

前期基本計画(総合戦略) 計画期間(令和8～12年度)

御殿場ウェルビーイング(幸福度・満足度)指標

現在住んでいるまちの暮らしに満足している

このまちに愛着を持っている

若者が活躍しやすいまちだと思う

やりたい仕事を見つけやすいと思う

政策方針	数値目標		主な政策	主な重要業績評価指標 (KPI)	
	指標 (市民満足度スコア等)	令和12年度		指標	目標値 (令和12年)
1 【産業】 人が集い 活力あふれる 産業を育てる まちづくり	◆「観光客がたくさん訪れ、まちが活性化している」	3.2	・国内外の観光交流客の周遊・滞留による産業の活性化 ・新たな企業誘致と産業連携の推進	・観光交流客数 ・地域産業立地促進事業費補助件数	1,700万人 10件
	◆「経営者にとっても、消費者にとっても、魅力のある農林業が行われている」	3.0			
	◆「商業、工業に活力と競争力がある」	3.0			
2 【健康福祉】 笑顔あふれる 健やか・福祉の まちづくり	◆合計特殊出生率	1.54	・子育てしやすい環境づくりの推進 ・健康づくりの促進	・放課後児童クラブの利用率 ・運動習慣のある人の割合：壮年期	45% 40.0%
	◆「安心して子どもを産み育てる環境が整っていると思う」	3.1			
	◆「健康づくりの機会や、地域の医療は充実している」	3.0			
3 【防災・市民生活】 安全で安心して 暮らせる まちづくり	◆「地震などの自然災害や火災への備えができています」	3.2	・危機管理体制の構築 ・治山・治水対策の充実	・防災訓練参加者割合 ・年間間伐面積累計値	30.0% 2,128ha
	◆「交通事故や犯罪が少なく、環境も守られ、生活が安全である」	3.5			
4 【教育文化】 富士山のように 大きな心を持 った人づくり	◆「こどもからお年寄りまでが、進んでいるいろいろなことを学ぶことができる環境が整っている」	3.2	・人を育む環境の充実 ・生涯学習と地域活動の推進	・学校の自己評価・学校関係者評価による教育課程の改善状況 ・市民大学講座参加者数	98.0% 350人
	◆「文化やスポーツ、レクリエーション、ボランティア活動など、仕事以外の時間も充実していて、生きがいを感じる」	3.1			
5 【環境】 富士山の恵みを 守り育てる まちづくり	◆「豊かな自然が保たれ、自然に親しむことができる」	3.8	・恵まれた自然環境の保全と継承 ・身近な生活環境の向上	・こども環境会議参加者数 ・河川水質調査箇所環境基準値超過割合 (BOD)	180人 0%
	◆「ゴミの減量化、リサイクル、省資源、省エネルギーが進んでいる」	3.6			
6 【都市基盤】 富士山の麓に ふさわしい 美しく快適な まちづくり	◆「良好な景観が維持されている」	3.5	・魅力ある景観の形 ・交通基盤の整備	・眺望遺産の認定件数 ・都市計画道路整備率	7件 52.4%
	◆「道路や公共交通が、歩行者と環境に配慮して整備されている」	3.0			
7 【協働・計画推進】 富士山と共に 歩む協働の まちづくり	◆社会動態による増減(人) 静岡県統計年鑑、人口ビジョン	+924人	・魅力発信の強化 ・市民参画と協働の推進	・移住相談件数 ・市民活動支援センター団体登録数	70件 130件
	◆「市役所は最小の経費で最大の効果をあげるように努めている」	3.0			

国における総合戦略の政策目標

強い経済

豊かな生活環境

選ばれる地方